

『ふたりだけの証しが欲しい…』

と、
いうわけで、
では
恋愛
証明書

を発行しています。

Lovers Certificate.

恋愛上手への道

LOAD OF THE LOVERS.
毎週金曜日 KBS京都
フリーウェーブ 金曜!生デス!麒麟デス!
PM8:00~ ON AIR!

と、
いうわけで、
HOTEL

ホテル と、いうわけで。
京都市東山区四楽川端下ル東橋
tel.075-531-9366
e-mail to-iuwakede@free-park.com
[マダムカトリーヌの恋愛相談室] 開設中!
URL www.free-park.com/to-iuwakede/
休憩 朝6時から深夜12時まで
宿泊 夜10時から昼の12時まで(休・祝日の前日は翌朝10時まで)

POWER Music is moistened our life. Tasteful album is here. W'd like to find your recommended one. PLAYSOUND

自ら紡ぎだした音楽を歌う
そのスピリットに共感する



carolina day:
Carolina Days: The Livingston Taylor Collection 1970-1980/Livingston Taylor
輸入盤
「アメリカで70年代にデビューして、現在までスタイルを変えない。それは、実際やってみると驚かないための努力が必要だと気がきました」と言う。「昔から好きだったけど、ソロになってから参考にするという立場でも聴くように」



LADIES OF THE CANYON / JONI MITCHELL
ワーナーミュージック・ジャパン 17894 (税込)
「聴くのはもっぱら男性アーティストのものだけど、女性のほうが感情的な部分が多いと聞いて驚かされた。これは70年代のアルバムで、12~3年前から聴いているもの。歌は懐かしかったり、怖かったりしますね」



フクロウの唄 / 馬場俊英
Up On The Roof Records 2900円 (税込)
'01年4月発売。「シンガーソングライターとしての新しい原点であり、ターニングポイントとなった一枚。街があって、はずれには森。その森で街を眺めながら、夜に活動するフクロウに自分を重ねたのが、タイトル曲」



鴨川 / 馬場俊英 Up On The Roof Records 2100円 (税込)
この夏発売されたアルバムタイトルは、ずばり鴨川。仕事で訪れ始め、応援してくれる人が増え、やがて自分にとって大きい存在になった京都の象徴だ。「ライブで京都を訪れた時、ふらふらとよく歩いたのは三条から四条あたり。川も大好き、曲も一番好きだったのがタイトルに」



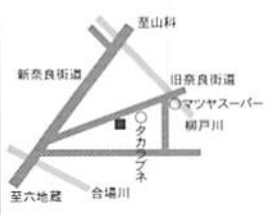
11/19は心音橋「KNAVE」でライブ 馬場俊英 / シンガーソングライター
<http://www.t-baba.com/>

ギターを手にしたのは小学校の頃。「弾いてて楽しい」の延長線上に今がある」と言う馬場俊英さん。バンドとしてライブやリリースを経た後、'01年にソロでの活動を始めた。自分で作り上げた詞やメロディを、自らギターを弾き歌う。歌い手の思いや人柄がダイレクトに伝わる、そのスタイルを貫くから、同じスタンスのミュージシャンにもまた惹かれるのだと言う。「曲もいい、声もいい、ギターも上手だし、何よりシンガーソングライターとしての立ち位置がずっと変わらないのがいい」リビングストーン・テイラー。「70年代から変わらず活躍して、女性だけれど逞しい、ギターも力強い」ジョニ・ミッチェル。そして「物事を馬場俊英的視点で捉えて、シンガーソングライターとしてのやり方で、自分のスタイルを確立していきたい」と歩を進める本人。変わらないスタンスを保つ二人、プラスそれを目指す自分。そんなシンガーソングライターつながりてセレクトされた3枚は、たおやかな音が染み渡る。

103 不動産のついで
→ revised edition

「趣味らしきものはゴルフだけど、まだまだ」とはにかみ、クラブ片手のポーズよりも、店頭のノボリを選んだ川勝店主。今は余暇を楽しむことよりも、仕事優先という心理が働いているのかも

切り拓くのは人生と土地
住みよい家を届けたい!



アトラスホーム
京都市伏見区第五東葉町13-11
福塩ビル1F
☎075-573-0052
●9:00~19:00/水休

「あんどや」の増井氏と川勝氏は同じ宇治市出身で、高校時代の同級生。山科をホームグラウンドに奮起する同志として、十代の頃より親密な関係。川勝氏は今年6月に34歳の若さで不動産会社を設立し、「アトラスホーム」の店主として多忙な毎日過ごす。不動産業は大きく、売買、賃貸、分譲などに分けられるが、川勝氏の仕事は売買に伴う仲介がメイン。独立間もない今はマイホーム購入の橋渡しの部分が中心だが、いずれは土地購入から建築まで担えるような住まいのコーディネーターになりたいと闘志を覗かせる。人生最大の買い物は人の転機に関わるもの、「ノンフィクションのドラマを垣間見られる部分が魅力の一つ」と面白さを語りながら、「半端な仕事をしたら続かない」ことも弁えている。旅行先でも無意識に家や、土地の境界にまで目を奪われてしまう職業病を抱えつつも、それをまったく悩みとしないところが、夢へと邁進しているよい証だろう。